

第24回全国青年対策交流集会 感想文

2月29日から3月2日にかけてホテル クライトン新大阪に於いて第24回全国青年対策交流集会を関西地方青年部の主催により開催し、全国から53名の青年部員が集まりました。

今回、開催地の青年部として約1年半前から準備に取り掛かりました。準備に取り掛かった頃はコロナ禍の影響で会議の頻度を減らしていたこともあり、通常通り月1回の開催に戻すところから始まりました。関西が抱える問題や課題などを皆で出し合い、それを全国の青年部の仲間に伝えるにはどうすべきかを考え、まずは自分たちが学ぶところから始めなければならないということで議題を『IR問題』に絞り、大阪府や市民団体が開催するセミナーに参加し、学んだことを会議で共有し知識を深めてきました。またフィールドワークの候補地の選定や下見なども行いました。学習会での講師を勤めるにあたり関西が抱える大きな問題である『IR問題』について何がどう問題なのかを分かりやすく伝えるために各支部に議題を振り分け、動画やスライドを作成しリハーサルを重ねてきました。

本番が終わり、分散会や懇親会の中で各地方の青年部員から「IRについて詳しく知ることができた」「具体的な数字を出してくれて分かりやすかった」「IR問題についてすごく興味が湧いた」など非常に嬉しい言葉をいただきました。

今回の青対を通して関西地方青年部が団結し、一人一人が自分のできることを考え、取り組んだことで今回の青対を無事に成功で終えることができたと思います。名残惜しい気持ちもありますが私は青対を最後に青年部を退き後任に引き継ぎます。松永書記長の学習講義の中にもあった「魅力ある港湾を作り次の世代や子供たちに繋げる」という言葉を胸に次の世代の青年部へとバトンを渡したいと思います。

最後になりましたが、全国から参加していただいた青年部の皆様、学習講義を快く引き受けていただいた中央本部並びに関西地方本部の皆様。そして、関西地方青年部のみなさん本当にありがとうございました。

関西地方 阪神支部
副部長 篠崎謙悟